

事業番号	05 04 01	<b>事業改善シート（令和4年度実施事業分）</b>				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地域福祉推進事業	部局	健康福祉部	課・室	地域福祉課	実施期間	S30 ~	E-mail	chiiki-fukushi@pref.nagano.lg.jp
		総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標									
総合的に展開する重点政策	4-3 医療・介護提供体制の充実	5-1 多様性を尊重する共生社会づくり			5-2 女性が輝く社会づくり				

### 1 現状と課題

・人口減少やライフスタイルの変化によって、地域住民が抱える課題が複雑化・複合化しているため、従来の福祉の枠組みを超えた地域全体で支え合う体制を構築する必要がある。  
 ・急速な少子高齢化に対応するため、引き続き介護・福祉人材を養成・確保する。

### 2 事業目的

・県民一人ひとりが地域社会を支える一員としての役割を担い、主体的に地域福祉活動に参加し相互に支え合う社会を推進するとともに、地域にある社会資源への助成を行うことで、誰もが自己実現の機会を得ることができる社会づくりを目指す。  
 ・福祉大学の運営を通じ、地域福祉をけん引する専門性の高い福祉・介護人材を養成する。


### 3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①社会福祉の推進、市町村における包括的な支援体制の構築支援及び人材育成

- ・地域福祉を推進するため、市町村が行う地域福祉の充実に資する福祉サービス等への助成を実施
- ・包括的な支援体制の構築に向けて、重層的支援体制整備事業等必要な情報提供や助言等の支援

②福祉大学の運営

- ・保育士及び介護福祉士を養成
- ・保育実習室の運営を通じ、学生の保育技能習得を支援



長野県福祉大学校授業風景

### 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①	地域福祉総合助成金活用市町村数	市町村	69	66	↘	65	↘	69	未達成	過去5年の平均活用市町村数をふまえ設定。	
②	福祉大卒業生の福祉施設就職率	%	96	87	↘	93	↗	90以上	達成	過去の実績を勘案した数値を踏まえ設定。	

### 5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	1,357,172	6,217,626	7,574,798	1,137,526	7,541,463	18.4
R3年度	0	1,019,065	5,360,616	6,379,681	760,389	6,332,691	18.4
R2年度	0	887,224	7,152,275	8,039,499	677,605	6,703,035	18.4

事業番号	05 04 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地域福祉推進事業		部局	健康福祉部	課・室	地域福祉課		

## 6 主な取組実績と成果

<p><b>社会福祉の推進、市町村における包括的な支援体制の構築支援及び人材育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉総合助成金を65市町村へ助成。（47市町村が安心生活支援事業を活用、57市町村が障がい者支援事業を活用）</li> <li>・包括的な支援体制の構築に向けて、重層的支援体制整備事業を実施又は実施する予定の12市町村のほか、事業実施を検討中の団体に対してもヒアリングや勉強会、情報共有の会議を行う等の支援を実施した。令和5年度は重層的支援体制整備事業を実施又は実施する予定の市町村は15となった。また、相談支援機関の連携人材を育成するための研修を2回実施し、延べ424名が参加した。</li> </ul> <p><b>福祉大学校の運営</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉大学校(保育学科、介護福祉学科)を運営し、福祉人材を養成した。(保育学科卒業生43名、介護福祉学科卒業生12名)</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	地域福祉総合助成金活用市町村数	R3年度推移	↘	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
実施自治体については、減少している。本事業は、市町村から住民等へ補助した場合に活用できるものであり、特に小規模の町村において、住民からの補助申請が無かったことが原因である。							
指標②	福祉大卒業生の福祉施設就職率	R3年度推移	↘	R4年度推移	↗	達成状況	達成
未満児保育の増加や介護職の絶対数の不足などで、引き続き求人が多い状況であり、福祉施設就職率は目標値を上回った。							

## 8 今後の事業の方向性

<p>(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉総合助成金交付事業は、市町村における補助事業に対して補助を行うため、市町村においても予算措置や対象者への働きかけ等が必要となる。また、活用のない市町村は小規模市町村であることから、住民からのニーズがないのか、市町村として事業実施を検討していないのか把握する必要がある。</li> <li>・地域住民が抱える課題が複雑化・複合化しているため、相談機関が包括的に相談を受け、分野を超えた機関の連携が必要となる。また、相談者と伴走しながら自立を促すために、相談員には高いスキルが求められているとともに、相談者のその後を支えるために社会資源の充実が必要となる。</li> <li>・福祉人材の確保については、保育の現場では、未満児保育の増加などで引き続き福祉大学校卒業生への求人が多い状況であることに加え、障がいのある子どもの対応など多様なニーズに対応できる人材が求められている。介護職は絶対数の不足を補うため、引き続き福祉大学校での養成が必要であるが、他の養成校と同様に、定員を充足しない状況が続いている。</li> </ul>
<p>(2) 翌年度以降の事業改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉総合助成金は、災害の頻発などの状況を踏まえメニューを追加するなど拡充を行ってきたところであるが、未実施市町村へ聞き取りを行うなど、市町村の実施状況等を踏まえて支援メニューを構成する。</li> <li>・重層的支援体制整備事業を実施している市町村の成果や手法等を共有し、必要に応じて市町村を支援することで、事業実施する市町村を増やす。また、現場のニーズに即した研修等を実施し、分野を横断できる高い相談スキルをもった人材を育成する。</li> <li>・福祉大学校での保育士養成については、学校内の保育実習室に民間保育事業者を誘致し、保育ニーズの変化に対応できる実践力を備えた保育士を養成する。介護福祉学科では、オープンキャンパスやオンライン個別説明会、学校訪問等の広報活動を充実させ、定員確保に努める。</li> </ul>

事業番号	05 04 01	<b>細事業一覧（令和4年度実施事業分）</b>	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	<b>地域福祉推進事業</b>		部局	健康福祉部	課・室	地域福祉課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	<b>地域福祉総合助成金交付事業</b>		91,275 千円	72,423 千円	64,008 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	安心生活支援事業	補助金	誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援 活用市町村数47		
2	障がい者支援事業	補助金	障がい児（者）が地域で自分らしく自立した生活ができるよう支援 活用市町村数57		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	<b>民生委員児童委員交付金</b>		292,355 千円	256,148 千円	258,011 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	民生委員児童委員交付金	交付金	地域福祉の支え手である民生委員・児童委員の活動等に要する経費を助成 県内（中核市を除く）の民生委員児童委員3,855人（定数改正によりR4.12から3,847人）の活動費及び212の地区協議会の運営費を助成		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	<b>更生保護支援事業</b>		23,188 千円	35,403 千円	28,206 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	更生保護支援事業	補助金	長野県保護観察協会が実施する犯罪や非行をした者の再犯防止対策及び人材育成等を支援 大会開催1回、研修1回、機関誌発行7回		
2	社会復帰促進支援事業	直接	県機関が保護観察中の少年を雇用し、安定的な就労に向けた準備等を支援 対象者がなく未実施		
3	地域生活定着促進事業	委託	高齢や障がい等により、福祉的支援が必要で帰住先を確保できない矯正施設出所（予定）者の社会の復帰を支援し、再犯防止につなげる体制を整備 矯正施設出所予定者支援33人、被疑者等支援13人、支援検討会30回、研修会1回		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	長野県社会福祉協議会活動支援事業		6,098,272 千円	5,615,458 千円	6,435,986 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	日常生活自立支援事業	補助金	認知症や障がいにより判断能力が十分でない者の福祉サービス利用の手続き代行や日常的な金銭管理を援助 実施主体：社会福祉法人長野県社会福祉協議会（No.1～5まで同様） 補助額90,776千円		
2	福祉サービスに関する苦情解決事業	補助金	福祉サービスに関する苦情の解決や日常生活自立支援事業の適正運営を確保 補助額12,855千円		
3	生活福祉資金貸付事業	補助金	低所得者、障がい者、高齢者等の世帯に対する無（低）利子の資金貸付及び生活相談支援を実施 新型コロナウイルス感染症の影響による資金需要に対応するため、特例貸付に必要な原資等を追加交付 貸付金の債権管理（令和4年度～16年度）に要する費用を長野県社会福祉協議会へ補助 補助額6,245,536千円		
4	ボランティア活動支援事業	補助金	ボランティア活動の拡大普及を促進し、地域生活課題を住民主体で解決する環境づくりを支援 補助額30,646千円		
5	住民支え合い活動支援事業	補助金	住民支え合いによる住民力強化を図るための支援者支援とともに、住民主体の生活支援サービス等の活動の一層の普及・拡大を図る 補助額9,351千円		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
5	社会福祉総合センター運営費		44,276 千円	209,668 千円	605,051 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	除却等整備事業	委託	建物除却工事等の実施 建物の除却		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
6	福祉のまちづくり推進事業		617 千円	726 千円	567 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州パーキング・パーミット制度実施事業	直接	パーキング・パーミット（障がい者等用駐車場利用）制度の普及及び適正利用の促進 10,665名の利用証発行、新規協力施設17カ所		

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
7	東日本大震災被災者生活支援事業	3,255 千円	2,307 千円	178 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	県外避難者支援事業		R3年度事業終了 国庫返還金	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
8	権利擁護推進事業	9,357 千円	8,925 千円	9,141 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	総合的な権利擁護推進事業	補助金	権利擁護意識の醸成と法人後見受任体制の整備を促進 普及・啓発セミナー1回25名、新規成年後見受任体制法人2カ所、推進会議1回	
2	成年後見制度利用促進体制整備事業	委託	成年後見制度の利用促進を図るため、市町村を中心とする中核機関の設置及び地域の相談支援機関との連携体制の構築を支援 戦略会議2回、圏域ネットワーク作成に向けた会議11回、研修会1回80名	
3	権利擁護支援体制構築モデル事業	委託	遺贈や遺言等の寄付の受入と法人後見等の権利擁護支援に取組む団体への配分を通して、拡大する権利擁護ニーズへの支援体制構築に向けたモデル事業を実施 立ち上げに向けた委員会4回、事業開始令和5年7月	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
9	地域共生社会推進事業	11,021 千円	9,163 千円	8,910 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	重層的支援体制整備事業の立上げ・運営支援	委託	市町村における重層的支援体制整備事業の立ち上げ及び円滑な運営に必要な情報の提供、助言等を実施 未実施市町村向け研修(年1回)、事業に関する相談対応(随時)、市町村内の勉強会等での事業説明(随時)	
2	相談支援等従事者研修	委託	地域住民が抱える複雑化・複合化した課題の解決のため、市町村及び地域の相談支援機関の専門的支援能力の向上や相互の連携手法等を習得する研修の実施 市町村従事者向け研修を2回実施	
3	地域課題解決を図る人材の養成（地域福祉コーディネーター総合研修）	委託	地域生活課題や住民ニーズに対して、住民をはじめNPO活動団体、社会福祉法人などの地域資源の連携による課題解決のための地域活動等をコーディネートする人材の養成を実施 地域福祉コーディネーター総合研修を4回実施	
4	県民・支援関係者等への啓発	委託	地域共生社会の理念の浸透と、その実施に向けた取組の促進を図る県民対象のフォーラムを実施 地域共生社会推進長野フォーラムを1回実施	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
10	小規模法人のネットワーク化による協働事業	3,922 千円	3,987 千円	3,990 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	小規模法人のネットワーク化による協働事業	補助金	小規模の社会福祉法人等が連携し複合的な地域生活課題を解決するための協働事業に対し助成 実施主体：社会福祉法人長野県社会福祉協議会 連携会議18回実施、フードバンクや人材確保等協働事業の実施	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
11	大規模災害ボランティア活動応援事業	0 千円	933 千円	1,328 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	大規模災害ボランティア活動応援事業	委託	大規模災害時に被災者の生活の早期復旧等を支援するボランティア団体グループの活動費の一部を助成 12団体に計1,264,825円の活動費を助成	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
12	福祉人材確保対策事業	58,483 千円	56,007 千円	57,901 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	福祉人材センター運営事業	委託	福祉人材センター（県社協）に委託し、福祉介護人材の確保定着のための啓発、情報発信、就職相談・説明会、事業所への紹介・斡旋等を一体的に実施 福祉人材無料職業紹介事業(年間)、福祉職員生涯研修(27回開催)、民生児童委員研修(12回開催)	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
13	福祉大学校運営費	45,943 千円	46,160 千円	49,158 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	福祉大学校運営	直接	福祉大学校（保育学科（定員50）、介護福祉学科（定員20））を運営し、保育士及び介護福祉士を養成 原油・原材料価格の高騰の影響による光熱費不足額を補正 保育学科43名卒業、介護福祉学科12名卒業	
2	福祉大学校保育実習室運営	直接	保育実習室（定員50）による保育事業を通じ、学生の保育技能習得を支援 在園児20名(R4.4)	

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
14	地域連携によるひきこもり支援推進事業		0 千円	342 千円	7,415 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	地域連携によるひきこもり支援推進事業	委託	市町村等や地域の相談支援機関等の連携によるひきこもり相談支援体制の構築を促進 ひきこもり支援団体等が行う、居場所・交流活動に係る費用を助成 フォーラムを1回開催（参加者212名）、圏域ごとの研究会を各3回開催（延べ参加人数432名）、県内に新たな居場所を9か所設置		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
15	新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化事業		0 千円	8,347 千円	11,613 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化事業	補助金	新型コロナウイルス感染症の影響により増加する生活保護や生活困窮者支援施策の相談に対応する人員の雇用や、保護施設の感染症対策を実施した 補助実績：長野市7,701千円、上田市2,037千円、飯田市1,875千円		